

競技上・審判上の注意

- 1 本大会は、令和5年度の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。
- 2 コート入場後、2分間の練習を認めます。(練習用のシャトルは持参ください)
シングルスの練習は対戦選手同士で行うものとします。
- 3 空いたコートに入る流し込み方式で行います。
試合進行ならびに選手集合の放送には十分に気をつけてください。なお、サブアリーナには放送が入りませんのでご注意ください。
- 4 試合が連続する場合は、原則として前の試合が終了してから15分後以降に次のコールをします。
- 5 コーチ席は2席設置します。コーチ席に入ることのできるのは、事前にコーチ申請・登録した(公財)日本バドミントン協会公認審判員有資格者とします。
- 6 コーチは許可されたインターバルの間を除き、指定された椅子に着席するものとし、試合中は立ち上がりたりコートのそばに立ったりしないでください。またコーチが他のコートへ移動する際は、必ずシャトルがインプレーでないときに行ってください。
- 7 コートサイドでコーチはマッチ(試合)中、いかなる目的でも携帯電話、パソコンなどの電子機器は使用できません。公認審判員規程第3条12項「コートの外からのアドバイス」の(6)による。
コートサイドでは、携帯電話などの電源は切ってください。
- 8 コーチ席での服装は、公認審判員規程第5条第12項(8)のとおりとします。7分丈、ハーフパンツ、Tシャツでの着席はできません。
- 9 コートへの入場は、選手誘導係の指示に従って各コートへ速やかに移動してください。
 - (1) コートサイドのかごは置きませんので、ラケットバックにタオル・給水用具等を入れてお持ちください。なお、タオル・給水用具等は直接床に置かないでください。
 - (2) 退場は、主審に統いて勝利選手から退場してください。
 - (3) 敗者は得点掲示に使用したネームプレートを受け取り、持ち帰ってください。
- 10 シャトルは、試打してありますので選択は認めません。また、シャトル及びラケットの交換(インプレーは除く)等については、主審の指示に従ってください。
- 11 試合中に汗拭きや水分補給、靴紐の直し、滑り止めの使用等でコートを離れる場合は、必ず主審の許可を得てください。

- 12 「競技区域」へのドリンク類の持ち込みは、フタ付きの容器(スライズボトル等)を使用し、ラケットバックに入れてください。氷嚢の使用はインターバル中のみ認めますが、氷嚢はコーチ席で小型の保冷バック（ソフトバック）等に入れ保管してください。
- 13 主審が必要と認めた以外のプレーの中斷は、一切認められません。
- 14 各試合(マッチ)のインターバルは、次の通りです。
(1) すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。
(2) 1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に、120秒を超えないインターバルを認めます。
(3) 各インターバルともコーチは2人まで競技区域に入れますが、主審が「…20秒」とコールしたら速やかにコーチはコーチ席に戻り、選手はコートに入ってください。
- 15 試合中のがや病気にあたっては、主審の判断によりレフェリー（競技役員長）・デピュティレフェリー（競技審判部長）や医師等をコートに呼びます。医師等ができるのは応急処置のみです。
- 16 試合時の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とします。背面には都県名と個人名(フルネーム)を着衣に映える配色で背中中央に明示してください。なお、ゼッケン使用の場合は4カ所を留めるようにしてください。背面の文字は(公財)日本バドミントン協会の大会運営規程24条に従ってください。
- 17 ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れてください。ゲーム中に上衣の裾が下衣から出た場合は、次のサービスまでの間に再度入れてください。
- 18 審判員の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。
なお、質問は当該選手に限られます。
- 19 観客席からの大声の助言・指導、フラッシュ撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。
- 20 本大会の運営及び主審・線審・得点表示は神奈川県バドミントン協会、神奈川県小学生バドミントン連盟で行います。